

新がまくら民主

鎌倉の未来のための行革推進を

●**まちづくり**
 大船駅東口再開発事業及び深沢のまちづくりについて、市長の考えをいただきました。

●**子育て支援・教育**
 保育所の定員拡大を評価しましたが、継続推進することを目指しました。公立園でインフルエンザへの対応や延長保育にばらつきのないよう体制を整えるよう要望しました。ティアラかまくらについては、近隣市でも産院が閉鎖される中、継続を評価します。

●**安全・安心**
 災害時要援護者登録制度の進捗状況・庁内や地域での情報共有・避難訓練の実施についていただきました。バスベいの設置については、交通渋滞の解消や二酸化炭素削減の見地からも修正提案しました。

●**福祉**
 高齢者の住宅政策、地域福祉支援室の関わりなどをいただきました。

●**緑の保全**
 身近な緑の保全要請・取得財源の問題・管理の問題など様々な課題について、市民緑地制度などの周知やボランティアの協力などの保全施策を推進するよう要望しました。

●**産業振興**
 総合評価競争入札での「地域貢献度」の課題をいただきました。鎌倉漁港の基本構想策定の予算を修正提案しました。

●**環境への取り組み**
 電気自動車の購入助成・充電器の設置の拡充の見解をいただきました。また、ごみ処理行政の方向性については、ゼロ・ウェイストかまくらの実現に向けて山崎浄化センターバイオマスエネルギー回収施設の方針決定を確認しました。

日本共産党

市民生活と地元経済を支援

共産党市議団は、市民生活に責任を負う立場から一般会計予算修正案を共同提案し、修正案可決後の予算原案(修正部分を除く)に意見を述べたうえで賛成しました。また、後期高齢者医療特別会計については、制度の早期廃止を求める立場から反対しました。

●**予算編成と市民自治**
 松尾市政最初の予算案は、「行革元年」と言われましたが、特に「平成二十二年度主な見直し事業」の問題点を一貫して取り上げました。

●**野村総研跡地における文化・教養施設整備**(博物館・美術館構想)、鎌倉地域における漁港整備、鎌倉海浜公園整備計画(市営プールの建て替え等)などの施策は、市の基本計画・実施事業に掲載されているものです。市長がマニフェストで、こうした事業の見直しを掲げたとしても、市民や関係者の合意や議論を抜きに「行政主導」で変更を決めてしまうと、これでは自治とはいえません。

●**市長が事業の変更や廃止を行うのであれば、その検討過程で十分な市民合意を図ることが必要不可欠なはず**です。今回の予算編成には、その姿勢が欠けていることを強く指摘しました。自治体の主人公は市民です。特に市政の重要政策ほど、民主的なプロセスを大切にすべきです。

●**一般会計予算の修正提案**

●**環境について**
 ネット鎌倉は、市民協働の視点の欠如、人件費の引き上げや環境への不十分な取り組みを主な理由として一般会計予算について反対しました。

●**市民協働について**
 市民が主体的にまちづくりを参画できるよう、行政と情報共有し、協力する対等な関係を築くことが必要です。しかし、現状では職員に市民協働の意識が醸成されておらず、市民の力が生かされていないと言えません。

●**行財政改革について**
 二〇一〇年度は、市税十億円の減収を含め二十七・七億円の歳入不足です。これを財政調整基金を取り崩し、さらに臨時財政対策債を発行することで補います。厳しい財政運営の中、市職員の基本給等を基に支給される地域手当を十四%から十五%に引き上げるために、三千七百万円が計上されました。地域手当は、「民間の賃金水準を基礎とし、物価等を考慮して職員に支給する」との条例にもあることから、経済情勢をかんがみ引き上げに反対しました。

●**事業仕分けについて**
 鎌倉市の実情を知らない民間に安易に委託することが、生活者のための事業仕分けになるか疑問です。現行の市民評価委員会をより充実させることで市民主体の事業見直しが可能であり、市民協働につながる提案しました。

●**教育について**
 年々不登校の児童・生徒が増え、現在の相談支援体制では不十分です。多様な団体や機関との連携が必要であり、学校と調整を行うコーディネーターの設置を求めました。また唯一耐震化計画のない大船中学校の対策を早急に行うべきと指摘しました。

●**環境について**
 老朽化した焼却炉を休止させるために、山崎バイオ施設の早期稼働を進めるべきです。また、逗子市のごみ処理広域化を含め、焼却施設に關しても、早急に方向性を示すべきと指摘しました。

●**環境について**
 緑地保全基金への一般財源からの積み立てが凍結され、市民からの寄付のみに頼る予算措置は、市民とともに築いてきたみどり保全政策の後退です。

●**環境について**
 武田薬品新研究所との安全協定は、住民と市と武田との三者で結ぶべきです。未知なる危機への対策は、市民生活の安全・安心を第一とする施策でなければなりません。

●**環境について**
 高齢者や障害者、子育て世代などの孤立が大きな問題であり、地域福祉支援室の充実が求められます。しかし、予算は削減され、市民ニーズを反映しているとは言えません。

●**環境について**
 人員を増やし、地域に分室を設置するなど、拡充すべきと提案しました。

●**環境について**
 市民生活と地元経済を支援していくのが、自治体の基本的な役割です。経済が大変な時だからこそ市が積極的に経済振興を打ち出すべきです。

●**環境について**
 市内中小業者の仕事を増やす施策や入札制度の改善、住宅リフォーム助成制度の創設など、経済振興施策の実施・強化を求めました。

ネットワーケ鎌倉

市民目線で予算を評価

●**環境について**
 ネット鎌倉は、市民協働の視点の欠如、人件費の引き上げや環境への不十分な取り組みを主な理由として一般会計予算について反対しました。

●**市民協働について**
 市民が主体的にまちづくりを参画できるよう、行政と情報共有し、協力する対等な関係を築くことが必要です。しかし、現状では職員に市民協働の意識が醸成されておらず、市民の力が生かされていないと言えません。

●**行財政改革について**
 二〇一〇年度は、市税十億円の減収を含め二十七・七億円の歳入不足です。これを財政調整基金を取り崩し、さらに臨時財政対策債を発行することで補います。厳しい財政運営の中、市職員の基本給等を基に支給される地域手当を十四%から十五%に引き上げるために、三千七百万円が計上されました。地域手当は、「民間の賃金水準を基礎とし、物価等を考慮して職員に支給する」との条例にもあることから、経済情勢をかんがみ引き上げに反対しました。

●**事業仕分けについて**
 鎌倉市の実情を知らない民間に安易に委託することが、生活者のための事業仕分けになるか疑問です。現行の市民評価委員会をより充実させることで市民主体の事業見直しが可能であり、市民協働につながる提案しました。

●**教育について**
 年々不登校の児童・生徒が増え、現在の相談支援体制では不十分です。多様な団体や機関との連携が必要であり、学校と調整を行うコーディネーターの設置を求めました。また唯一耐震化計画のない大船中学校の対策を早急に行うべきと指摘しました。

●**環境について**
 老朽化した焼却炉を休止させるために、山崎バイオ施設の早期稼働を進めるべきです。また、逗子市のごみ処理広域化を含め、焼却施設に關しても、早急に方向性を示すべきと指摘しました。

●**環境について**
 緑地保全基金への一般財源からの積み立てが凍結され、市民からの寄付のみに頼る予算措置は、市民とともに築いてきたみどり保全政策の後退です。

●**環境について**
 武田薬品新研究所との安全協定は、住民と市と武田との三者で結ぶべきです。未知なる危機への対策は、市民生活の安全・安心を第一とする施策でなければなりません。

●**環境について**
 高齢者や障害者、子育て世代などの孤立が大きな問題であり、地域福祉支援室の充実が求められます。しかし、予算は削減され、市民ニーズを反映しているとは言えません。

●**環境について**
 人員を増やし、地域に分室を設置するなど、拡充すべきと提案しました。

●**環境について**
 市民生活と地元経済を支援していくのが、自治体の基本的な役割です。経済が大変な時だからこそ市が積極的に経済振興を打ち出すべきです。

●**環境について**
 市内中小業者の仕事を増やす施策や入札制度の改善、住宅リフォーム助成制度の創設など、経済振興施策の実施・強化を求めました。

●**環境について**
 ネット鎌倉は、市民協働の視点の欠如、人件費の引き上げや環境への不十分な取り組みを主な理由として一般会計予算について反対しました。

●**市民協働について**
 市民が主体的にまちづくりを参画できるよう、行政と情報共有し、協力する対等な関係を築くことが必要です。しかし、現状では職員に市民協働の意識が醸成されておらず、市民の力が生かされていないと言えません。

●**行財政改革について**
 二〇一〇年度は、市税十億円の減収を含め二十七・七億円の歳入不足です。これを財政調整基金を取り崩し、さらに臨時財政対策債を発行することで補います。厳しい財政運営の中、市職員の基本給等を基に支給される地域手当を十四%から十五%に引き上げるために、三千七百万円が計上されました。地域手当は、「民間の賃金水準を基礎とし、物価等を考慮して職員に支給する」との条例にもあることから、経済情勢をかんがみ引き上げに反対しました。

●**事業仕分けについて**
 鎌倉市の実情を知らない民間に安易に委託することが、生活者のための事業仕分けになるか疑問です。現行の市民評価委員会をより充実させることで市民主体の事業見直しが可能であり、市民協働につながる提案しました。

●**教育について**
 年々不登校の児童・生徒が増え、現在の相談支援体制では不十分です。多様な団体や機関との連携が必要であり、学校と調整を行うコーディネーターの設置を求めました。また唯一耐震化計画のない大船中学校の対策を早急に行うべきと指摘しました。

民主党

「行革元年」予算に一定の評価

民主党鎌倉市議会議員団は、平成二十二年度一般会計予算及びその他の諸議案については賛成をいたしました。

●**土地開発公社について**
 土地開発公社の保有する土地は実勢価格の半分ともいわれており、十年以上塩漬けとなつている土地の保有が大きな問題です。また、一般会計予算から土地開発公社に毎年十億円の貸付と一億円の金利負担が支出されています。

●**環境について**
 老朽化した焼却炉を休止させるために、山崎バイオ施設の早期稼働を進めるべきです。また、逗子市のごみ処理広域化を含め、焼却施設に關しても、早急に方向性を示すべきと指摘しました。

●**環境について**
 緑地保全基金への一般財源からの積み立てが凍結され、市民からの寄付のみに頼る予算措置は、市民とともに築いてきたみどり保全政策の後退です。

●**環境について**
 武田薬品新研究所との安全協定は、住民と市と武田との三者で結ぶべきです。未知なる危機への対策は、市民生活の安全・安心を第一とする施策でなければなりません。

●**環境について**
 高齢者や障害者、子育て世代などの孤立が大きな問題であり、地域福祉支援室の充実が求められます。しかし、予算は削減され、市民ニーズを反映しているとは言えません。

●**環境について**
 人員を増やし、地域に分室を設置するなど、拡充すべきと提案しました。

●**環境について**
 市民生活と地元経済を支援していくのが、自治体の基本的な役割です。経済が大変な時だからこそ市が積極的に経済振興を打ち出すべきです。

●**環境について**
 市内中小業者の仕事を増やす施策や入札制度の改善、住宅リフォーム助成制度の創設など、経済振興施策の実施・強化を求めました。

●**環境について**
 ネット鎌倉は、市民協働の視点の欠如、人件費の引き上げや環境への不十分な取り組みを主な理由として一般会計予算について反対しました。

●**市民協働について**
 市民が主体的にまちづくりを参画できるよう、行政と情報共有し、協力する対等な関係を築くことが必要です。しかし、現状では職員に市民協働の意識が醸成されておらず、市民の力が生かされていないと言えません。

●**行財政改革について**
 二〇一〇年度は、市税十億円の減収を含め二十七・七億円の歳入不足です。これを財政調整基金を取り崩し、さらに臨時財政対策債を発行することで補います。厳しい財政運営の中、市職員の基本給等を基に支給される地域手当を十四%から十五%に引き上げるために、三千七百万円が計上されました。地域手当は、「民間の賃金水準を基礎とし、物価等を考慮して職員に支給する」との条例にもあることから、経済情勢をかんがみ引き上げに反対しました。

●**事業仕分けについて**
 鎌倉市の実情を知らない民間に安易に委託することが、生活者のための事業仕分けになるか疑問です。現行の市民評価委員会をより充実させることで市民主体の事業見直しが可能であり、市民協働につながる提案しました。

●**教育について**
 年々不登校の児童・生徒が増え、現在の相談支援体制では不十分です。多様な団体や機関との連携が必要であり、学校と調整を行うコーディネーターの設置を求めました。また唯一耐震化計画のない大船中学校の対策を早急に行うべきと指摘しました。

●**環境について**
 老朽化した焼却炉を休止させるために、山崎バイオ施設の早期稼働を進めるべきです。また、逗子市のごみ処理広域化を含め、焼却施設に關しても、早急に方向性を示すべきと指摘しました。

●**環境について**
 緑地保全基金への一般財源からの積み立てが凍結され、市民からの寄付のみに頼る予算措置は、市民とともに築いてきたみどり保全政策の後退です。

●**環境について**
 武田薬品新研究所との安全協定は、住民と市と武田との三者で結ぶべきです。未知なる危機への対策は、市民生活の安全・安心を第一とする施策でなければなりません。

●**環境について**
 高齢者や障害者、子育て世代などの孤立が大きな問題であり、地域福祉支援室の充実が求められます。しかし、予算は削減され、市民ニーズを反映しているとは言えません。